

令和 6 年度地方スポーツ振興費補助金
(中学校における部活動指導員の配置支援事業)

別紙様式 1 記入例・記入要領

「1. 事業計画書（指導員・間接）」記入要領

※「事業計画書（指導員・間接）」は、指定都市を除く、指導員を配置する市区町村が作成し、都道府県が取りまとめるものです。

＜作業概要・手順＞

1. 市区町村での入力・都道府県への提出

各申請市区町村にて【作業用】シートの1ページ目に必要事項を記入し、都道府県に提出する。

※提出する前にページ右下にエラー表示がないことを確認すること。「必要な欄への記入が完了しました。今一度、記載内容を確認し提出願います。」というコメントが表示されていることを確認し、最終確認の上、提出すること。

2. 都道府県での取りまとめ・確認

各市区町村から提出されたデータを【作業用】シートの1ページ目、2ページ目、3ページ目・・・と順に貼りつけ、【提出用】シート（作業用シートの内容を自動表示し、不備チェックと行う）にて記載内容に不備等がないか確認する。

※市区町村記載内容にエラーがあれば、各ページの右下に表示される。

※【提出用】シートと【作業用】シートに行数のずれ等があると、エラー表示が出るため、注意する。

※特に「No.」については都道府県が確認すること。1ページ目から順に「市区町村名」が正しく入力されていれば、自動的に「No.」が表示される。

【中学校における部活動指導員の配置支援事業】

1. 事業計画書（間接補助事業）※用紙はA4型縦とする。

- ＜記入上の注意＞
- (※1) 報酬の「配置人数」欄は、年間を通じた配置予定人数を記入すること。
- (※2) 報酬の「国庫補助希望額」欄は、補助上限1,600円を超える金額を記載しないこと。
- (※3) 「国庫補助希望額」は、1,000円未満を切り捨てること。当該都道府県に対して当該都道府県が実施する事業に要する補助対象経費の3分の1以内の額（都道府県が補助する額を上限とする。）を補助するものとし、都道府県又は指定都市が設置する中学校において本事業を実施する場合には、当該都道府県又は指定都市が実施に要する補助対象経費の3分の1以内の額とする。
- (※4) 「部活動指導員について」、「支給条件の確認」欄については、2つの選択肢のうちいずれかを選択すること。合致する場合に所定の欄に「○」を選択すること。
- (※5) 「地域連携・地域移行に関する取組」欄については、「客観的勤務実施の把握」については、部活動指導員を配置する学校の設置者が設置する全ての学校において、客観的な勤務実施の把握（Q&A参照）が可能となっている場合に「○」を選択すること。

No.	市区町村名	配置人数	補助対象経費						合計(円) a+b+c+d	(※3)のうち 都道府県補助額 (円) e	(※3) 国庫補助 希望額(円)																				
0		0	(※1) 配置 人数	(※2) 報酬 単位数 等	年間総時間	小計(円)	備考	報酬合計(円) a	0	0	0																				
												(※5) 支給 人数	基礎額算出の際の1時間当たりの単価は1,600円以下である。	小計(円)	期末手当・勤労手当 合計(円)b	交通費	支給 人数	小計(円)	交通費合計(円)c	0											
																					成果目標										
																					成果指標										
																					(※4) 部活動指導員について	本事業において中学校(義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学校部を含む)に配置するのは、学校教育法施行規則第七十八条の二に規定する部活動指導員である。						【入力内容確認欄】 以下にコメントが表示されている場合、確認・修正願います。 ・報酬・期末勤労手当・交通費・合計額・国庫補助希望額のいずれかが未入力または不備あり。 ・【C列】市区町村名が重複または不備			
																					(※4) 支給条件の確認 教育委員会・学校ともに部活動が イデランを遵守	①活動時間、休業日の設定等		②研修の実施		③客観的勤務実施の把握		【成果目標】・【成果指標】・【部活動指導員について】・【支給条件の確認】・【部活動指導員の指導状況】・【地域連携・地域移行に関する取組】のいずれかに未入力箇所あり。			
																					(※4) 部活動指導員の指導状況	原則、単独で指導や引率を行っている。		(※4)地域連携・地域移行に資する取組				【C列】 都道府県補助額：未入力または不備あり。 ※都道府県に相談の上、入力願います。			

1ページ目

エラー表示部分

No.	市区町村名	配置人数	補助対象経費						合計(円) a+b+c+d	(※3)のうち 都道府県補助額 (円) e	(※3) 国庫補助 希望額(円)																				
0		0	(※1) 配置 人数	(※2) 報酬 単位数 等	年間総時間	小計(円)	備考	報酬合計(円) a	0	0	0																				
												(※5) 支給 人数	基礎額算出の際の1時間当たりの単価は1,600円以下である。	小計(円)	期末手当・勤労手当 合計(円)b	交通費	支給 人数	小計(円)	交通費合計(円)c	0											
																					成果目標										
																					成果指標										
																					(※4) 部活動指導員について	本事業において中学校(義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学校部を含む)に配置するのは、学校教育法施行規則第七十八条の二に規定する部活動指導員である。						【入力内容確認欄】 以下にコメントが表示されている場合、確認・修正願います。 ・報酬・期末勤労手当・交通費・合計額・国庫補助希望額のいずれかが未入力または不備あり。 ・【C列】市区町村名が重複または不備			
																					(※4) 支給条件の確認 教育委員会・学校ともに部活動が イデランを遵守	①活動時間、休業日の設定等		②研修の実施		③客観的勤務実施の把握		【成果目標】・【成果指標】・【部活動指導員について】・【支給条件の確認】・【部活動指導員の指導状況】・【地域連携・地域移行に関する取組】のいずれかに未入力箇所あり。			
																					(※4) 部活動指導員の指導状況	原則、単独で指導や引率を行っている。		(※4)地域連携・地域移行に資する取組				【C列】 都道府県補助額：未入力または不備あり。 ※都道府県に相談の上、入力願います。			

2ページ目

エラー表示部分

No.	市区町村名	配置人数	補助対象経費						合計(円) a+b+c+d	(※3)のうち 都道府県補助額 (円) e	(※3) 国庫補助 希望額(円)																				
3			(※1) 配置 人数	(※2) 報酬 単位数 等	年間総時間	小計(円)	備考	報酬合計(円) a	0	0	0																				
												(※5) 支給 人数	基礎額算出の際の1時間当たりの単価は1,600円以下である。	小計(円)	期末手当・勤労手当 合計(円)b	交通費	支給 人数	小計(円)	交通費合計(円)c	0											
																					成果目標										
																					成果指標										
																					(※4) 部活動指導員について	本事業において中学校(義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学校部を含む)に配置するのは、学校教育法施行規則第七十八条の二に規定する部活動指導員である。						【入力内容確認欄】 以下にコメントが表示されている場合、確認・修正願います。 ・報酬・期末勤労手当・交通費・合計額・国庫補助希望額のいずれかが未入力または不備あり。 ・【C列】市区町村名が重複または不備			
																					(※4) 支給条件の確認 教育委員会・学校ともに部活動が イデランを遵守	①活動時間、休業日の設定等		②研修の実施		③客観的勤務実施の把握		【成果目標】・【成果指標】・【部活動指導員について】・【支給条件の確認】・【部活動指導員の指導状況】・【地域連携・地域移行に関する取組】のいずれかに未入力箇所あり。			
																					(※4) 部活動指導員の指導状況	原則、単独で指導や引率を行っている。		(※4)地域連携・地域移行に資する取組				【C列】 都道府県補助額：未入力または不備あり。 ※都道府県に相談の上、入力願います。			

3ページ目

「1. 事業計画書（指導員・間接）」記入要領

1. 市区町村での入力・都道府県への提出

以下の記入要領を踏まえ、赤枠内のオレンジ色セルに

必要に応じて入力する。**行や列の削除・挿入はしないこと。**

<記入要領>

①市区町村名：申請市区町村名を入力する。
正しく入力すれば、左隣の「No.」セルに番号が自動表示される。
(東京都千代田区の場合：「千代田」→×「千代田区」→○)

②報酬：
・配置人数・補助金積算上の報酬等時間単価・年間総時間の欄に入力する。
・補助金積算上の報酬時間単価が同額の者をまとめて1行に入力。
・「小計(円)」には自動的に金額が表示される(小数点切り捨て)。
・超過勤務手当を支給している場合は、以下(例)を参照し入力。
(例)単価1,200円で2名配置し、活動時間/年の合計が100時間でありこれに加え2名ともに時間外活動/年の合計0.5時間に対し、時間外勤務手当を支給する場合

(※1) 配置人数	(※2) 補助金積算上の報酬等時間単価(円)	年間総時間	小計(円)	備考
2	1,200	100	120,000	
0	1,500	0.5	750	上段のとおり配置した2名の指導員に、時間外勤務手当を支給

・「備考」は、時間外勤務手当を支給する場合に上記のように入力する。
また、実際の支給単価が1,600円より高い場合等、実際の支給単価を入力する。(例)実際の支給単価は1,700円
・行数が足りない場合は、非表示設定されている25~34行目を表示し、入力する。

③期末・勤勉手当：
・補助金積算上、期末手当・勤勉手当を支給する者がいる場合に、「支給人数」に該当人数、「小計」に該当者への支給合計額を入力する(小数点以下は切り捨て)。
・「基礎額算出の際の1時間当たりの単価は1,600円以下である。」欄には各人の単価が1,600円以下であることを確認の上、「○」をプルダウンリストから選択入力する。

④交通費：
・補助金積算上、交通費を支給する者がいる場合に、「支給人数」に該当人数、「小計」に該当者への支給合計額を入力する(小数点以下は切り捨て)。
※③期末手当・勤勉手当又は④交通費を支給し②報酬を支払わない者がいる場合は、②「報酬」欄に以下(例)のとおり入力する。
(例)交通費を支給するが、報酬は支給しない者が3名いる場合

(※1) 配置人数	(※2) 補助金積算上の報酬等時間単価(円)	年間総時間	小計(円)	備考
3	0	0	0	交通費のみ支給

【中学校における部活動指導員の配置支援事業】
1. 事業計画書(間接補助事業) ※用紙はA4縦横とする。

※設定上、配置人数は「報酬」欄の「配置人数」に記載の人数を計上します。

＜記入上の注意＞
(※1) 報酬
(※2) 報酬
(※3) 「国」都道府県又は指定都市が設置する中学校
(※4) 「部活動指導員について」は、各自治体において、指定都市が実施に要する補助対象経費の3分の1以内の額とする。
「部活動指導員について」、「支給要件の確認」、「部活動指導員の指導状況」欄については、各自治体において、指定都市が実施に要する補助対象経費の3分の1以内の額とする。
「地域連携・地域移行に資する取組」については、部活動指導員を配置する学校の設置者が設置する全ての学校において、ただし、「支給要件の確認」欄については、部活動指導員を配置する学校の設置者が設置する全ての学校において、

No.	市区町村名	配置人数	補助対象経費				合計(円) atbrcnd	(※3)のうち 都道府県補助額 (円) e	(※3) 国庫補助 希望額(円)		
①		0	報酬	(※1) 配置人数	(※2) 補助金積算上の報酬等時間単価(円)	年間総時間	小計(円)	備考	報酬合計(円) a		
				0	0	0	0		0	0	0
			期末・勤勉手当・ 交通費	支給人数	基礎額算出の際の1時間当たりの単価は1,600円以下である。	小計(円)	期末手当・勤勉手当 合計(円)b	交通費	支給人数	小計(円)	交通費合計(円)c
				0	0	0	0		0	0	0
成果目標 ⑥											
<p>(※4) 部活動指導員について</p> <p>本事業において中学校(義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む)に配置するのは、学校教育法施行規則第七十八条の二に規定する部活動指導員である。</p> <p>本事業において部活動指導員として任用する人材は、義務教育費国庫負担金の対象ではない者である。</p> <p>(※4) 支給要件の確認 教育費等・学校ともに勤務先が プランを遵守</p> <p>(※4) 部活動指導員の指導状況</p> <p>①活動時間、休業日の設定等 ②勤務の実態 ③客観的勤務実態の把握</p> <p>原則、単独で指導や引率を行っている。 (※4)地域連携・地域移行に資する取組</p>											

【入力内容確認欄】 以下にコメントが表示されている場合、確認・修正願います。
報酬・期末勤勉手当・交通費・合計額・国庫補助希望額のいずれかが未入力または不備あり。
【C判】市区町村名は必ず入力してください。
エラー表示部分
【成果目標】・【成果指標】・【部活動指導員について】・【支給要件の確認】・【部活動指導員の指導状況】・【地域連携・地域移行に資する取組】のいずれかが未入力箇所あり。
【D判】都道府県補助額：未入力または不備あり。 ※都道府県に相談の上、入力願います。

- ⑤都道府県補助額(円)：
・「都道府県補助額」については、都道府県に相談の上、入力する。
・U列「補助対象経費合計」のうち、都道府県が当該市区町村に対して補助する金額を入力する。
- ⑥成果目標・成果指標：
・各自治体における成果目標・成果指標を入力する。
- ⑦要件の確認：
・「部活動指導員について」、「支給要件の確認」、「部活動指導員の指導状況」欄：各欄に記載の事項を満たしているかを確認の上、「○」をプルダウンリストから選択入力する。
※「客観的勤務実態の把握」については、部活動指導員を配置する学校の設置者が設置する全ての学校において客観的な在校等時間の把握(Q&A参照)が可能となっている場合に「○」を選択する。
・「地域連携・地域移行に資する取組」欄：プルダウンリストからいずれかを選択する。

①~⑦の入力後、右下の「エラー表示部分」の内容を確認し、
「入力不備」等のコメントが表示されている場合は、該当箇所の修正を行う。
「入力完了!今一度、記載内容を確認し提出願います。」の表示が出ていることを確認し、
再度記載内容の確認を行い、取りまとめの都道府県に提出する。

【提出用】事業計画書に表示される各エラーコメントの意味について

右上エラー表示

エラー表示		各コメントの意味
「別紙様式1」シートの記載内容確認	→	「別紙様式1」シートに不備または未入力箇所あり。
「事業計画総括表」・「収支予算書」シートを確認	→	「事業計画総括表」・「収支予算書」の両方またはいずれかに不備または未入力箇所あり。
「銀行口座情報」シートを確認	→	「銀行口座情報」に不備または未入力箇所あり。

入力が完了した場合、
全てのエラー表示が消え、
印刷範囲の枠外に、
以下のように表示されます。

入力完了！記入した事業計画書の右下にエラー表示がないことを確認しご提出ください。

右下エラー表示

エラー表示		各コメントの意味
報酬・期末勤勉手当・交通費・合計額・補助金額のいずれかに不備あり	→	【作業用】の左記項目のいずれかに不備あり。
都道府県補助額：未入力または不備あり	→	【作業用】の都道府県補助額に不備あり。（間接補助のみ） <記入上の注意点>※3を参照
国庫補助希望額に不備あり/国庫補助希望額は自動計算されます。	→	【作業用】の国庫補助希望額に不備あり。 自動計算式を確認する必要あり。
市区町村名：未入力または不備あり	→	【作業用】C列:市区町村名が未入力または不備あり。（間接補助のみ） 市区町村名欄には「〇〇市」、「〇〇町」まで記載すること。
報酬の「配置人数」には年間を通じた配置予定人数を記載してください。（※1）及び記入例参照	→	【作業用】の報酬「配置人数」の記載内容に不備あり。 報酬の配置人数には、交通費や期末勤勉手当のみ支給される者も計上すること。（詳細：p.2・p4参照）
【成果目標】・【成果指標】・【部活動指導員について】・【支給要件の確認】・【部活動指導員の指導状況】・【地域連携・地域移行に資する取組】のいずれかに未入力箇所あり	→	【作業用】の左記項目のいずれかに不備または未入力箇所あり。 「部活動指導員について」・「支給要件の確認」・「部活動指導員の指導状況」・「地域連携・地域移行に資する取組」は選択入力。

入力が完了した場合、
全てのエラー表示が消え、
印刷範囲の枠外に、
以下のように表示されます。

左の市区町村に係る入力が完了しました。今一度、記載内容をご確認ください。

※【作業用】シートでは、
印刷範囲の枠内に**「入力完了！今一度、記載内容をご確認ください。」**と表示されます。